

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	4	1	学校教育	教職員の資質の向上
実施計画事業名					
(小)教職員研修支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	02	02	06	職員研修支援事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

実施計画整理番号	
102040101	
総合戦略整理番号	

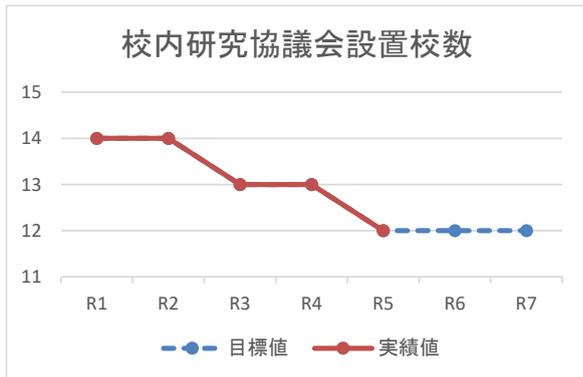
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校での校内研修会及び茂原市教育研究協議会の実施支援。 ・自主グループの育成及び県教委主催研修への参加の促進。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
校内研修や茂原市教育研究協議会において、教育課題に沿った研修の充実を図ることで、幅広い視野をもち児童の実態に対応できるような教職員を育成し、ひいては施策「教職員の資質の向上」に寄与する。		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	456	456	451						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	456	456	451						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
各研修会で、教職員一人一人が自ら進んで研修する。	校内研究協議会設置校数	校	目標値	13	12	12
			実績値	13	12	
	茂原市教育研究協議会部会数	部会	目標値	16	16	16
			実績値	16	16	
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	4	1	(小)教職員研修支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	06	職員研修支援事業

整理番号
102040101

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に沿った研修会への参加を促進できた。 ・校内研修や小中学校の相互参観等を通して、教職員の資質・能力の向上を図れた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・各研修会に参加することで、教職員として必要な資質・能力が保持されるとともに、定期的に最新の知識・技能を身に付けることができた。引き続き、教職員としての資質能力向上が図れる体制を整える必要がある。 		

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、指定校等の授業公開の実施、参観を通して取組の成果を共有するとともに、児童の学力向上や授業改善に向けた取り組みの充実を図っていく。 	
企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 研修会参加のための施策により、教職員の資質の向上に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めていただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	4	1	学校教育	教職員の資質の向上
実施計画事業名					
(中)教職員研修支援事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	03	02	08	職員研修支援事業	
担当課・係等					
学校教育課 指導係					

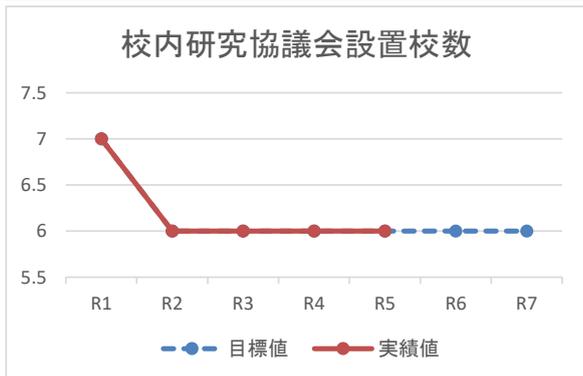
実施計画整理番号	
102040102	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか) 教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか) ・各学校での校内研修会及び茂原市教育研究協議会の実施支援。 ・自主グループの育成及び県教委主催研修への参加の促進。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	校内研修や茂原市教育研究協議会において、教育課題に沿った研修の充実を図ることで、幅広い視野をもち生徒の実態に対応できるような教職員を育成し、ひいては施策「教職員の資質の向上」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	344	344	344						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	344	344	344						
	人工数	人		-							
	人件費	千円		-							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
各研修会で、教職員一人ひとりが自ら進んで研修する。	校内研究協議会設置校数	校	目標値	6	6	6	6
			実績値	6	6		
	茂原市教育研究協議会部会数	部会	目標値	14	14	14	14
			実績値	14	14		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
教職員一人ひとりが自己の資質・力量を磨き上げ、確かな授業力を保てるようにする。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向



成果指標の動向

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	4	1	(中)教職員研修支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	08	職員研修支援事業

整理番号
102040102

課題抽出(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育課題に沿った研修会への参加を促進できた。 ・校内研修や小中学校の相互参観等を通して、教職員の資質・能力の向上を図れた。 		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<ul style="list-style-type: none"> ・各研修会に参加することで、教職員として必要な資質・能力が保持されるとともに、定期的に最新の知識・技能を身に付けることができた。引き続き、教職員としての資質能力向上が図れる体制を整える必要がある。 		

今後の方向性(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、指定校等の授業公開の実施、参観を通して取組の成果を共有するとともに、生徒の学力向上や授業改善に向けた取り組みの充実を図っていく。 	
企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 	研修会参加のための施策により、教職員の資質の向上に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めていただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	3	2	1	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーションの推進
実施計画事業名					
スポーツ教室事業					

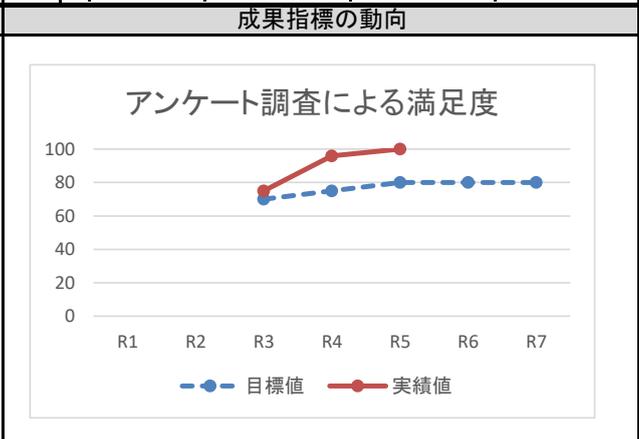
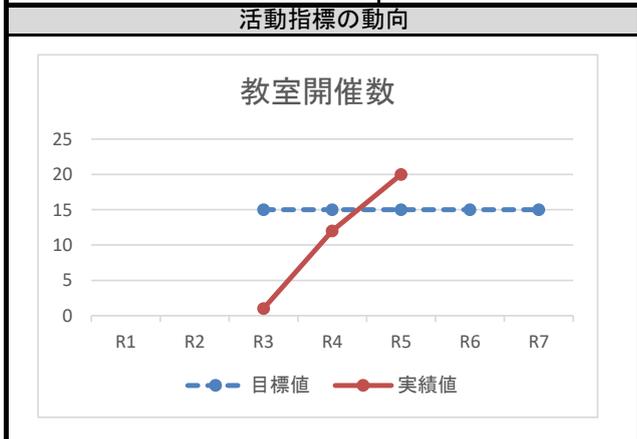
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	06	01	02	スポーツ教室事業	
担当課・係等					
体育課 体育館係					

実施計画整理番号	
103020101	
総合戦略整理番号	32201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民の健康づくり・体力づくりを推進し、健康で明るい活力に満ちた生活の実現を目指す。	基本的な運動技術の習得を目標に各種スポーツ教室を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市民誰もが日常でスポーツできる環境を整備し、魅力的なスポーツ教室の開催等、スポーツによる健康・体力づくり事業の活性化を図ることで、施策「スポーツ・レクリエーションの推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	583	583	492						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	583	583	492						
	人工数	人	0.8								
	人件費	千円	5,733								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
各種スポーツ教室の開催	教室開催数	回	維持します 実績値 12	維持します 20	維持します	維持します
		目標値				
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民が健康で活力に満ちた生活を送る	教室参加者へのアンケート調査による満足度(満足、概ね満足の人数割合)	%	75 実績値 96	80 100	維持します	維持します
		目標値				



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	3	2	1	スポーツ教室事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	06	01	02	スポーツ教室事業

整理番号
103020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・パラスポーツ教室(10教室)を開催し、420名の参加があった。 ・茂原スポーツフェスティバル茂原市ジュニアバレーボール教室を開催し、222名の参加があった。 ・キッズ運動能力向上教室(計9回)を実施し、175名の参加があった。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原スポーツフェスティバル茂原市ジュニアバレーボール教室については、講師数を増やすことにより更にきめ細かい指導ができる。元オリンピック選手のプレーを間近で体感、直接指導を受けることは子どもたちにとってかけがえのない経験であり、より多くの子どもに参加の機会を提供したい。 ・キッズ運動能力向上教室は、未就学児及び小学生の運動能力向上及びスポーツの楽しさを感じてもらうため、継続的な実施が必要と考えている。 ・市主催教室について今年度は開催できなかったが、今後も開催内容、開催方法等の検討が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催教室については、幅広い年齢層に対し、スポーツをするきっかけづくりとなる場の提供を行っていきたいが、開催内容、開催方法等の検討が必要であることから、教室という形にこだわらず、きっかけづくりの場の提供方法を検討していく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>各種スポーツ教室の開催により、スポーツ・レクリエーションの推進に一定の成果があったと認められる。引き続き各種教室の開催に努めるとともに、効果的な開催方法・内容についても検討していただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	3	2	1	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーションの推進
実施計画事業名					
スポーツ振興事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
0	60	10	3	スポーツ振興事業
担当課・係等				
体育課 体育振興係				

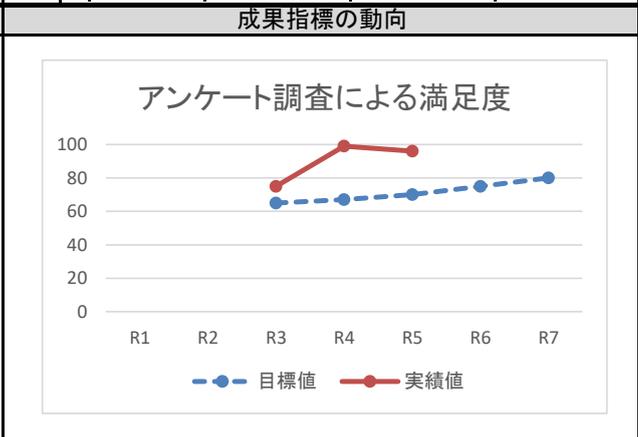
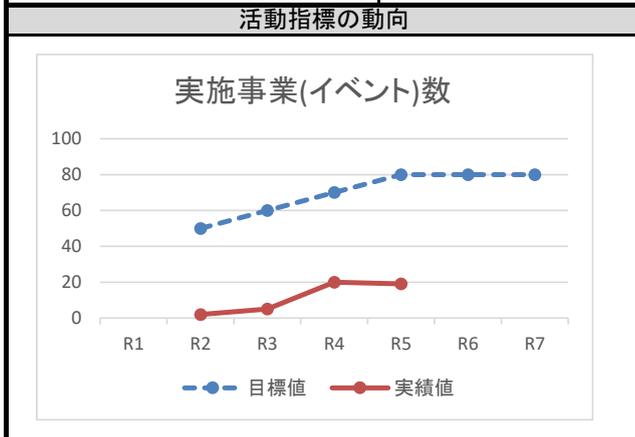
実施計画整理番号	
103020102	
総合戦略整理番号	32202

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民が、スポーツに取り組む機会の充実や環境整備を図り、スポーツを行う習慣づくりの意識啓発に努め、スポーツへの関心や意欲の向上を図られることを目指す。また、茂原市体育協会と茂原市スポーツ少年団の組織強化を図り、競技スポーツと青少年の健全育成を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 従来の市民体育館での事業に加え、小学校体育館を拠点とした事業も実施し、身近な場所で気軽にスポーツに取り組む環境を整備する。 もばらタッチバレーボール千葉県大会、ファミリースポーツまつり、スポレク祭、大相撲鎌山部屋ふれあい相撲等を開催する。 スポーツへの関心を高めるため大相撲巡業の(仮称)大相撲茂原場所を開催する。 体育協会とスポーツ少年団に補助金を交付して支援し、競技力向上のために、体育協会と共催で市民体育祭を開催する。 事業実行を行うため定期的にスポーツ推進委員会会議を開催する。 スポーツの推進に関する事項を審議するため、スポーツ推進審議会を設置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

市民スポーツの充実や、スポーツによる健康・体力づくり事業の活性化を図ることで、施策「スポーツ・レクリエーションの推進」に寄与する。

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	6,770	6,880	6,309						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	120	120	120						
	一般財源	千円	6,650	6,760	6,189						
	人工数	人	1.7								
	人件費	千円	12,232								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
スポーツへの関心や意欲の向上を目的としたスポーツ・レクリエーション事業の実施	実施事業(イベント)数	回	70	80	維持します	維持します
			20	19		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民が習慣的にスポーツに取り組める機会の充実を図り、楽しみながら心身ともに健康でいられる環境をつくる。	事業(イベント)参加者へのアンケート調査による満足度(満足、概ね満足の人数割合)	%	増加を目指します	増加を目指します	維持します	維持します
			99	96		



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	3	2	1	スポーツ振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
0	60	10	3	スポーツ振興事業

整理番号
103020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・もばらタッチバレーボール千葉県大会を開催し、206名の参加があった。</p> <p>・体力・運動能力調査「大人のスポーツテスト2023」を実施し、15名の参加があった。</p> <p>・レッツエンジョイスports(計12回)、レッツエンジョイウォーキング(計2回)を実施し、835名の参加があった。</p> <p>・大相撲綴山部屋ふれあい相撲を開催し、520名の参加があった。</p> <p>・スポーツ協会及びスポーツ少年団へ補助金を交付し活動の支援を行った。</p> <p>・スポーツ推進委員の会議において、スポーツイベント実施方法等の検討、及び今後のスポーツ推進委員活動のスポーツ普及についての協議を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	<p>・体力・運動能力調査「大人のスポーツテスト2023」は、個々の体力年齢を知ることにより健康な体づくりや体力向上に対する意識が高まると考えられるので、継続実施が望ましい反面、実施方法の検討や健康管理課及び高齢者支援課事業との重なり等による事業精査を図る必要がある。</p> <p>・レッツエンジョイスportsの参加者がある程度固定化している。</p> <p>・スポーツ推進委員会議での検討・協議内容として、魅力的な事業実施の方法等についての検討が必要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・スポーツ推進委員会議で協議を行い、より魅力的で安心して参加できるスポーツイベントを実施する。</p> <p>・レッツエンジョイスportsの実施時期や実施時間帯をいくつか設けることなどにより、より多くの人のスポーツをするきっかけづくりとなるような場を引き続き提供していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
	B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>スポーツの推進に係るイベント等各種事業の実施により、スポーツ・レクリエーションの推進に一定の成果があったと認められる。幅広く市民が参加しやすいイベントの検討及び事業実施方法の検討にも努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	1	1	文化芸術	文化環境の整備
実施計画事業名					
新市民会館建設事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
2	01	09	07	新市民会館建設検討事業	
担当課・係等					
生涯学習課 文化係					

実施計画整理番号	
104010101	
総合戦略 整理番号	

事業概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
事業概要 (PLAN)	昭和42年に開館した中央公民館と昭和43年に開館した市民会館は、施設や設備の老朽化が進んでおり、市民の多様化したニーズへの対応に多くの課題が生じてきた。そこで、市民会館は平成31年3月に閉館としたが中央公民館においては継続して開館している。このため、平成29年度に基本構想、平成30年度に基本計画を策定し、文化芸術や市民等の交流の拠点となる新市民会館(複合施設)建設に向けての検討を進めた。	基本構想・基本計画を基に、民間事業者に対しサウンディングを行い、これを踏まえて、庁内で検討した結果、整備方式は従来方式と決定した。また、建設候補地として「市民会館・中央公民館敷地」と決定したが、令和元年10月25日の大雨による浸水被害を受けたため、建設候補地について改めて検討する必要がある。そのような状況を勘案し、総合計画における事業の位置づけを検討するとともに、建設に向け事業を継続していく。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	新市民会館に関する検討を進め、市民の文化活動や学習の場の提供に努めることで、施策「文化環境の整備」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
			事業費	千円	10,181	9,511	8,514				
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円	6,000	6,000	5,600						
	その他	千円	602	602							
	一般財源	千円	3,579	2,909	2,914						
	人工数	人		0.3							
	人件費	千円		2,298							

手 段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
建設候補地の再検討を含め、建設に向けた検討会等を実施する。		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
文化芸術や市民の交流拠点としての新市民会館の建設に向けた検討を行う。		目標値				
		実績値				
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	1	1	新市民会館建設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	07	新市民会館建設検討事業

整理番号
104010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>新市民会館の建設に向け、旧市民会館の解体工事設計業務委託、解体工事設計審査業務委託、アスベスト分析業務委託を実施した。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<p>B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>旧市民会館の跡地については、駐車場としての用途も含めて検討する。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>新市民会館の建設候補地について改めて検討する。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>新市民会館建設に向けた検討、業務委託等により事業が推進されたものと認められる。引き続き、各種課題の検討に努めていただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	生涯学習	芸術文化の振興
実施計画事業名					
文化祭開催事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	09	文化祭開催事業	
担当課・係等					
生涯学習課 文化係					

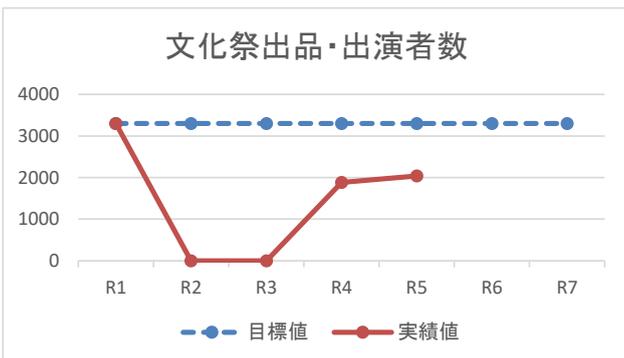
実施計画整理番号	
104020101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	文化活動の成果の発表の場を提供し、市民の文化意識の向上を図る。	茂原市文化協会との共催により文化祭を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	文化祭を実施することにより、市民の文化意識の向上を図り、ひいては施策「芸術文化の振興」に寄与する。	

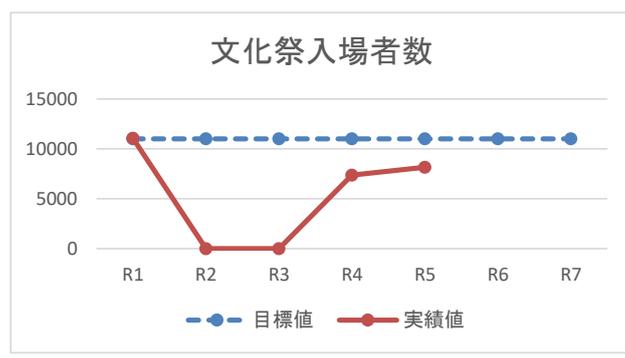
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	325	325	73						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	325	325	73						
	人工数	人	0.9								
	人件費	千円	6,895								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
			目標値	実績値	目標値	実績値
美術館・郷土資料館ほか10会場にて開催する。	文化祭出品・出演者数	人	3,300	1,885	3,300	3,300
				2,038		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
教育委員会と文化協会が共催することで、市民の芸術文化活動が推進されるとともに文化意識の向上が図られる。	文化祭入場者数	人	11,000	7,370	11,000	11,000
				8,168		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	2	1	文化祭開催事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	09	文化祭開催事業

整理番号
104020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	9月8日の大雨による被災状況を考慮し、文化祭は「秋の芸術週間」と名称を変えて実施した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> 風水害等の災害時による態度決定。 実施しない団体もあった。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	令和6年度から、事業予算がないが、創意工夫しながら文化祭を継続していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 文化祭の開催により、芸術文化の振興に一定の成果があったと認められる。現在の財政状況の中での文化祭の継続方法については、検討していただきたい。	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	文化芸術	芸術文化の振興
実施計画事業名					
美術館展示事業					

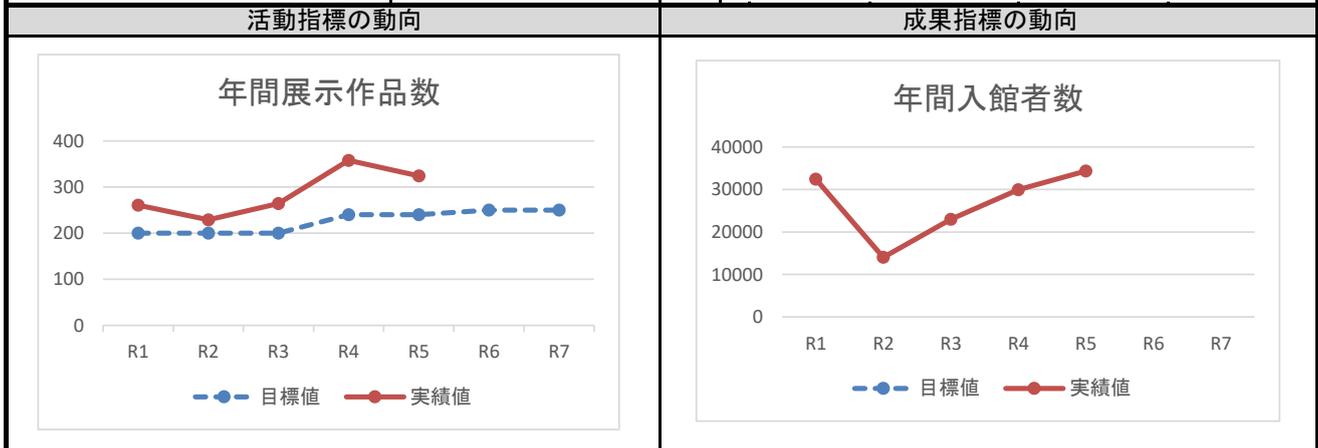
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	05	01	美術館展示事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

実施計画整理番号	
104020102	
総合戦略整理番号	32301

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	芸術文化に触れ、鑑賞できる機会を広く市民に提供し、地域の芸術文化の充実と振興を図る。	地域ゆかりの作家の作品について周知を図るため、収蔵品展、企画展を開催する。令和5年度には、令和元年に寄贈を受けた鳩川誠一作品を展示に活用するため、企画展(仮称)鳩川誠一展を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	美術品を収集し、研究した成果を展示に活用して、広く市民に公開することは、施策「芸術文化の振興」に寄与するものである。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,464	2,464	2,100						
	国補助	千円									
	県補助	千円		1,225	1,043						
	市債	千円									
	その他	千円	523	555	654						
	一般財源	千円	1,941	684	403						
	人工数	人		0.6							
	人件費	千円		4,597							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
美術収蔵品展、企画展等の開催により、美術収蔵品または他館の美術品を、広く市民に展示公開する。展示作品数を増加し、内容の充実した展示を開催することは、リピーターを含めた来館者の増加につながると考えている。	年間展示作品数	点	240	240	250	250
		実績値	358	324		
	バーチャルミュージアム映像配信回数	回	8	7	24	24
		実績値	12	28		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民が芸術文化に触れ、鑑賞できる機会が創出される。	年間入館者数	人	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
		実績値	29,926	34,332		



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	2	1	美術館展示事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	01	美術館展示事業

整理番号
104020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>すべての共催展示、収蔵品展、企画展を、計画どおりに開催した。(文化祭は、名称を変更し「秋の芸術週間」とした。)</p> <p>4年振りとなる企画展は、「千葉県誕生150周年記念事業」として、県補助金を活用して開催し、観覧者からは好評の声が聞かれた。企画展の観覧料・図録代の歳入は概ね目標を上回った。</p> <p>バーチャルミュージアム映像配信については、「共催展示」についても配信を始めたことが、出品者から喜ばれ、再生回数を伸ばしている事は有意義であり、今後も継続していく。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	C: 効率性について検討が必要である
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> 入館者数は、コロナ禍以前の水準に回復しつつあり、共催展示、収蔵品展、企画展等の開催により、市民に地域の芸術文化に触れる機会を提供できたことは、充分意義があったと考えている。 企画展においては、費用負担を伴うものであるため、観覧者は興味を持った方に限られるという点から、来館者のニーズに対する検討が必要である。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	④調達方法の見直し
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> 展示作品数、バーチャルミュージアム映像の配信を一つの指標すると共に、新たに寄贈を受けた美術品を展示に活用するなど、展示内容や展覧会名の工夫をしながら、来館者の増加につながる事業を継続していく。 	
企画政策課の評価		評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>		<p>各種展示を実施し、年間入館者数についても増加しており、芸術文化の振興に一定の成果があったと認められる。来館者のニーズを調査し、それに基づいた展示の実施を検討していただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	文化芸術	芸術文化の振興
実施計画事業名					
芸術文化講座事業					

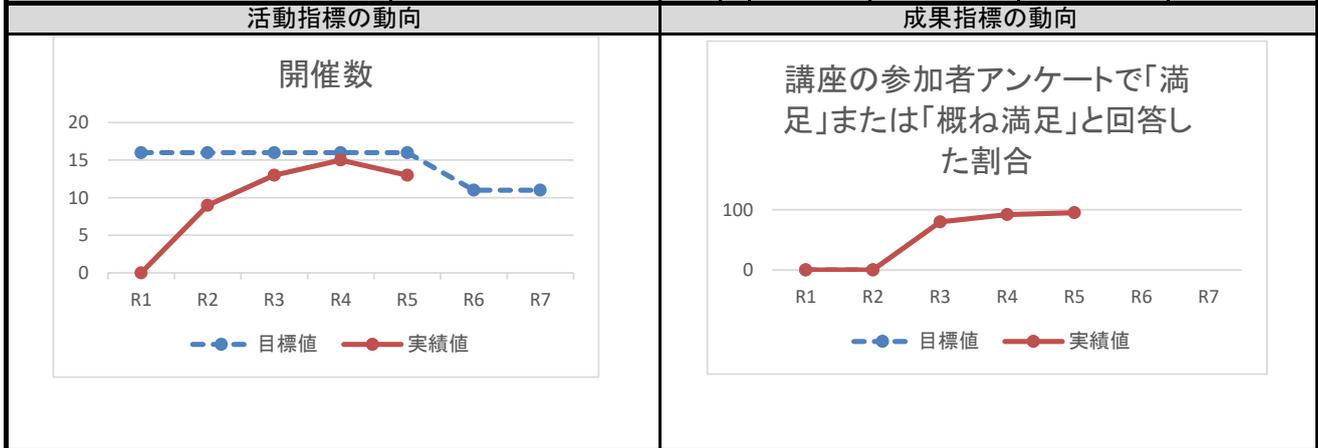
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	05	03	芸術文化講座事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

実施計画整理番号	
104020103	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	講座を受ける機会を広く市民に提供することで、市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会を創出する。	美術実技講座・歴史セミナー・古文書講座を開催する。また、小中学校への出前講座や、学校からの見学対応を行い、学校教育にも寄与する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	芸術文化、郷土の伝統文化について学習できる機会を提供することは、施策「芸術文化の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	106	106	99						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	106	106	99						
	人工数	人	0.25								
	人件費	千円	1,717								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
美術実技講座4回、歴史セミナー3回、古文書講座9回、市史編さん事業講演会1回を開催し、広く市民に、芸術文化と郷土の伝統文化について学習できる機会を提供する。	開催数	回	目標値	16	16	11	11
			実績値	15	13		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会を創出するとともに、芸術文化の振興が図られる。	講座の参加者アンケートで「満足」または「概ね満足」と回答した割合	%	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	92	95		



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	2	1	芸術文化講座事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	03	芸術文化講座事業

整理番号
104020103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・美術実技講座 計画どおり全4回を開催。4回の合計定員45名程度のところ、合計参加者延べ42名 場所:美術館実習室 ・古文書講座 計画どおり全5回を開催。毎回の定員30名程度。合計参加者延べ144名 場所:中央公民館、市民室、庁舎102会議室 ・歴史セミナー 計画どおり全3回を開催。3回の合計定員70名程度。合計参加者延べ65名 場所:中央公民館、美術館実習室 ・市史編さん事業講演会 計画どおり1回開催。定員20名程度。参加者15名 場所:美術館実習室 ・その他 出前講座、課外授業、研修等 6校(高校1、小中5)、延べ381名 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価			
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年9月の水害により、講座の延期や会場、日程の変更はあったが、古文書講座全5回、歴史セミナー全3回を予定どおり実施した。市史編さん事業講演会も、予定どおり開催した。6年度以降については、芸術文化講座の実施方法等を検討する。 ・コロナ禍による受講者の減少は、回復傾向にあるものの、暑い時期の小学生講座の参加者数は、少ない傾向が続いている。 			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、ボランティアの講師等による講座の開催について検討する。古文書講座については、5年度の講師によるボランティアで続けていけることになった。歴史セミナーについては、担当学芸員を含め、ボランティアでの講師継続を考えている。市史編さん事業講演会については、当面実施しない。令和6年8月下旬には、新たに親子で学ぶ歴史講座の開催を予定している。 ・美術実技講座についても、講師をボランティアで引き受けてくださる方に依頼して継続実施を考えている。秋に小学生から一般まで同時に受講可能な講座を行ったところ、小中学生の参加が多かったことから、暑い時期の講座を避けた、幅広い年齢層向けの講座を企画する。 			
企画政策課の評価		評価理由		
A		<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 各種講座の開催により、芸術文化の振興に一定の成果があったと認められる。引き続き学習機会の提供に努めるとともに、講座の内容や開催方法についても柔軟に検討していただき、満足度の高い講座の開催に努めていただきたい。		

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	2	生涯学習	芸術文化の振興
実施計画事業名					
文化振興事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	08	文化振興事業	
担当課・係等					
生涯学習課 文化係					

実施計画整理番号	
104020201	
総合戦略	
整理番号	

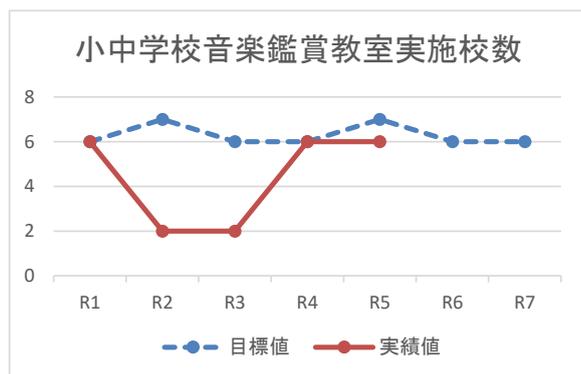
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	<p>本市の文化振興を図るため、市民が身近に芸術文化を实践できるようにするとともに、生活する上で心の豊かさが育まれることを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校音楽鑑賞教室や芸術文化鑑賞会などの芸術文化事業を実施する。 ・各文化関係団体の活動を支援することで、組織の活動の強化を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	文化関係団体等の活動を支援をすることで組織活動の強化を図るとともに、芸術文化事業を推進することにより、施策「芸術文化の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,778	3,778	3,243						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	2,359	2,359	1,984						
	一般財源	千円	1,419	1,419	1,259						
	人工数	人	0.4								
	人件費	千円	3,064								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校音楽鑑賞教室の支援を行う。 ・各文化関係団体の活動を支援する。 	小中学校音楽鑑賞教室実施校数	校	目標値	6	7	6	6
			実績値	6	6		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
市民が身近に芸術文化活動を実践できるようにするとともに、生活する上で心の豊かさが育まれることを目指す。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	2	2	文化振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	08	文化振興事業

整理番号
104020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	小中学校音楽鑑賞教室を7校中6校で実施することができた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
芸術文化鑑賞会については、開催を検討したが実施できなかった。			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	芸術文化鑑賞会については、市民のニーズに応じ、実施について適切に判断していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	
芸術文化事業の推進により、芸術文化の振興に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めるとともに、市民のニーズに基づいた事業実施の判断を行っていただきたい。		

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	1	生涯学習	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
文化財保護保存事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	10	文化財保護保存事業	
担当課・係等					
生涯学習課 文化係					

実施計画整理番号	
104030101	
総合戦略整理番号	32302

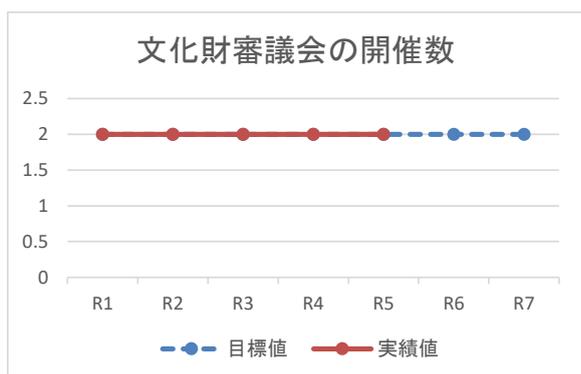
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>文化遺産である文化財を後世に伝え、有効活用することにより、市民の文化財に対する理解が深まり、郷土愛が高まることを目指す。</p>	<p>茂原市文化財審議会の開催、指定文化財等の保護・保存、郷土芸能等保存団体の活動支援を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	文化財審議会を開催し、指定文化財等の保護・保存を行うことにより、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	943	943	790						
	国補助	千円									
	県補助	千円	32	32	40						
	市債	千円									
	その他	千円	60	60	57						
	一般財源	千円	851	851	693						
	人工数	人	1.3								
	人件費	千円	9,960								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
・文化財審議会の開催 ・指定文化財等の保護・保存	文化財審議会の開催数	回	目標値 2 実績値 2	2	2	2
	市指定文化財登録件数(累計)	件	目標値 増加を目指します 実績値 56	増加を目指します 56	増加を目指します	増加を目指します
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民の文化財に対する理解が深まり、郷土愛が高まることを目指す。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向

成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	3	1	文化財保護保存事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	10	文化財保護保存事業

整理番号
104030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>茂原市文化財審議会の開催、指定文化財等の保護・保存活動、特に外来生物の駆除を行った。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
<p>A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)</p>			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>指定文化財等の保護・保存活動において、特にアライグマ等の外来生物による被害は深刻であり引き続き注意を払う必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・外来生物の駆除については、地元協力者と連携しながら、環境整備に努める。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
<p>A</p>	<p>A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>指定文化財等の保護・保存により、伝統文化の維持継承・振興に一定の成果があったと認められる。引き続き事業の推進に努めていただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	2	文化芸術	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
郷土資料館展示事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	05	02	郷土資料館展示事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

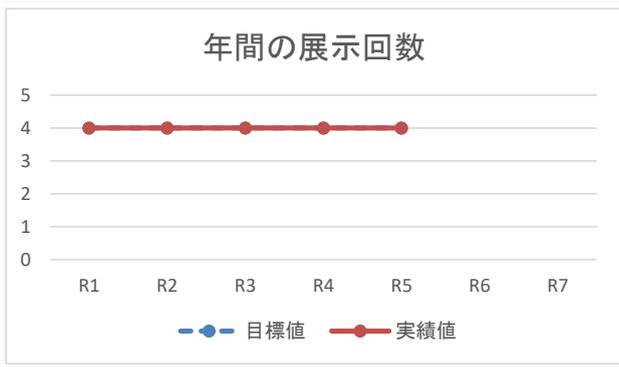
実施計画整理番号	
104030201	
総合戦略整理番号	32303

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民が歴史文化に触れ、学習できる機会が創出されるとともに、地域の伝統文化の振興を図る。	郷土の歴史について周知を図るため、地域の主な遺跡の出土品を中心とした常設展示の他、市史編さん事業での調査の成果を含めて歴史・民俗資料を活かしたテーマ展を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市史編さん事業での資料調査等から発見された考古・歴史・民俗等の郷土資料を収集し、研究した成果を活用して、広く市民に公開することは、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与するものである。	

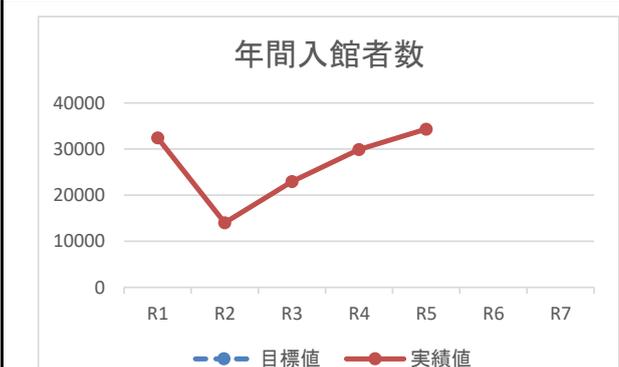
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	22	22	22						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	22	22	22						
	人工数	人	0.3								
	人件費	千円	2,100								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市史編さん事業や郷土資料館事業の中で収集した茂原に関する資料を広く市民に展示公開し、また、出前講座や学校の課外授業等と呼び込むことで来館者の増加に努める。	年間の展示回数	回	4	4		
		実績値	4	4		
	出前講座・課外授業の回数	回	3	3		
		実績値	3	6		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民が歴史文化に触れ、学習できる機会が創出されるとともに、地域の伝統文化の振興を図る。	年間入館者数	人	増加を目指します	増加を目指します		
		実績値	29,926	34,332		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	3	2	郷土資料館展示事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	02	郷土資料館展示事業

整理番号
104030201

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
<p>郷土資料館では、テーマ展や郷土収蔵品展、その他の歴史セミナー、古文書講座、市史編さん事業講演会を予定どおり開催した。特に市史編さん事業展示、茂原市史刊行記念講演会は、好評を得た。美術館の活動と同様、市公式ウェブサイトや広報もばら、地域情報誌、各新聞社等に情報を発信し、PR活動に努めている。</p>		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
<p>郷土資料館では、市史編さん事業展示、また通常のテーマ展、郷土収蔵品展を予定通り実施し、入館者数もコロナ禍以前の水準に戻ってきつつある。課題としては展示ケースやパネルが少なく、また展示スペースも限られていることから、収集した資料をより効果的に公開するための工夫が必要である。</p>		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
<p>ケースやパネルが不足しているが、美術展示室等の有効活用などの工夫をしながら、収集した資料の公開、展示を実施していく。</p>	
企画政策課の評価	評価理由
<p>B</p> <p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>各種展示や講演会を実施し、年間入館者数についても増加しており、地域の伝統文化の振興に一定の成果があったと認められる。引き続き事業を実施するとともに、効果的な周知方法や展示方法の検討に努めていただきたい。</p>

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	2	文化芸術	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
市史編纂事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	05	07	市史編纂事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

実施計画整理番号	
104030202	
総合戦略整理番号	32304

事務事業の概要(PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>市制施行70周年(令和4年度)から市史の刊行を開始し、茂原市の歴史の変遷を明らかにしていくとともに、郷土愛を育み、後世に市の歴史を継承する。</p>	<p>市史編さん委員会の開催、市の内外にある茂原市に関する歴史民俗資料の調査、市史の原稿執筆依頼、調査報告書の印刷及び市史の刊行を行う。</p>
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	<p>市制施行70周年を記念して令和4年度に新しい市史の1冊目を刊行し、2冊目以降も今後順次刊行する。調査・研究の成果を市史に掲載して広く市民に公開することは、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与するものである。</p>	

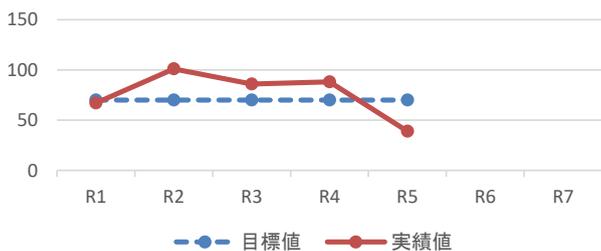
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	3,499	3,499	2,218						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	760	760	287						
	一般財源	千円	2,739	2,739	1,931						
	人工数	人	1.5								
	人件費	千円	8,319								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
令和4年度に1冊目の『茂原市史資料編I(原始・古代・中世考古)』を刊行した。引き続き2冊目以降の刊行に向けて、調査、原稿の編集作業を進めていく。	市史編さん委員会回数	回	目標値 4	4		
		実績値 4	4			
	調査回数	回	目標値 70	70		
		実績値 88	39			
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
市民の郷土愛を育み、後世に市の歴史を継承していく。	計画的な茂原市史の刊行		目標値			
		実績値				

活動指標の動向

成果指標の動向

調査回数



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	3	2	市史編纂事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	07	市史編纂事業

整理番号
104030202

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>令和4年度に刊行した『茂原市史資料編Ⅰ(原始・古代、中世考古)』及び『茂原市史調査報告書第八集千葉三郎関係文書調査報告書』上下巻を市内、市外、県外の自治体、博物館等、関係機関へ配布した。『茂原市史資料編Ⅰ(原始・古代、中世考古)』は令和5年6月より有料頒布を開始し、茂原市史刊行記念講演会も開催した。千葉日報や読売新聞などでPRも行った。 茂原市史編さん委員会を開催し、2冊目に刊行予定である仮称『茂原市史資料編Ⅱ(中世)』の準備のため編集の作業や調査も実施した。また、予算確保のためのふるさと納税型クラウドファンディングの活用について、検討を始めた。</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>財政状況が年々厳しくなっているが、2冊目以降も刊行計画に沿って市史を刊行していく必要がある。長期にわたる事業のため、事業が停滞してしまうと、編さん委員、調査執筆委員の年齢的なものやモチベーションの問題があり、後々市史の刊行に悪影響を及ぼすと考える。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・刊行計画に沿った市史刊行のため、財政部局と協議しながら、ふるさと納税型クラウドファンディングの活用等による歳入の確保に務めていく。 ・当館で収蔵している資料のほか、寺社や公共機関等の協力者と連携しながら引き続き市史調査を実施していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>市史編纂に係る事業の実施により、伝統文化の維持継承・振興に一定の成果があるものと認められる。予算確保の方法については検討に努めていただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
1	5	1	1	青少年健全育成と家庭教育
実施計画事業名				
青少年健全育成事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	04	青少年健全育成事業
担当課・係等				
生涯学習課 社会教育係				

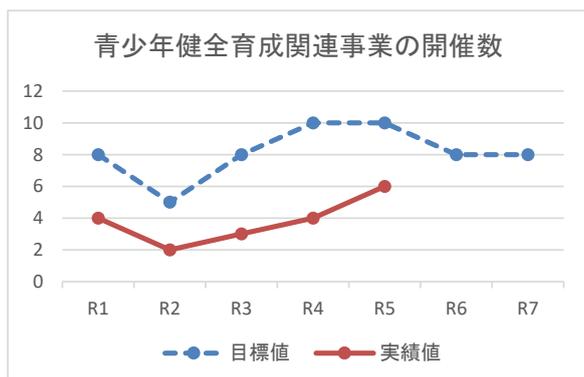
実施計画整理番号	
105010101	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	青少年育成団体を支援することで、多くの青少年に活躍の機会が提供され、青少年の健全育成が図られることを目指す。	青少年育成団体(青少年相談員連絡協議会、青少年育成茂原市民会議、茂原少年少女発明クラブ、茂原市子どもセンター協議会)に補助金を交付するとともに、事務局として運営を支える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	青少年の育成は地域全体で行っていく必要がある。各種団体の支援を通じて地域住民と連携することにより青少年の健全育成を図り、ひいては施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

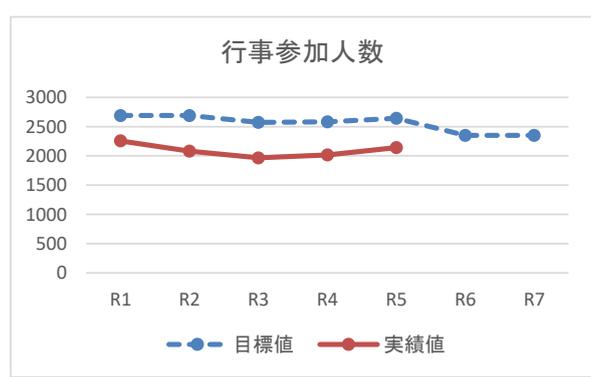
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	2,065	2,065	2,034						
	国補助	千円									
	県補助	千円	360	360	360						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,705	1,705	1,674						
	人工数	人	1								
	人件費	千円	7,662								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
青少年育成団体の活性化を図るため、補助金交付により財政面を、生涯学習課が事務局を担うことにより運営面を支援する。 また、青少年を取り巻く諸問題について青少年問題協議会で情報交換を行う。	活動を支援した団体数	団体	3 目標値 3 実績値	3 2	2	2
	青少年健全育成関連事業の開催数	回	10 目標値 4 実績値	10 6	8	8
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
行事の実施により、多くの青少年に活躍の機会が提供され、青少年の健全育成が図られる。	行事参加人数	人	2,580 目標値 1,879 実績値	2,640 2,142	2,350	2,350

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	5	1	1	青少年健全育成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	04	青少年健全育成事業

整理番号
105010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>・青少年の健全育成を図るため、関係団体に補助金を交付し活動を支援した。</p> <p>①青少年相談員連絡協議会 922千円(実施:写真コンテスト、タッチバレーボール交流大会、夜間パトロール等)</p> <p>②青少年育成茂原市民会議 986千円(実施:標語コンクール、タッチバレーボール交流大会、少年の主張大会等)</p> <p>※タッチバレーボール交流大会は2団体の共催事業</p> <p>・青少年問題協議会を開催(1回)</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・コロナ禍の収束に伴って各団体は活性化し、計画した行事を概ね開催できた。なお、青少年相談員連絡協議会事業のつつじマラソン大会は雨天により中止となった。</p> <p>・教員の働き方改革が進む中、学校への依存度を減らしていく必要があるため、団体同士が連携し、効率的に事業を実施していく必要がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・団体の事務局として、青少年相談員連絡協議会、青少年育成茂原市民会議及び茂原市子ども会育成連合会等の連携強化をサポートし、活動の効率化と充実を図る。</p> <p>・社会教育委員に青少年健全育成施策に対する意見を求め、時代に即した体制づくりを検討する。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
B	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当</p> <p>B: 事業改善の検討が必要</p> <p>C: 事業の休止・廃止の検討が必要</p> <p>D: 事業終了が適当</p> <p>青少年育成団体への支援により、青少年の健全育成に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な支援に努めるとともに、時代に即した形での事業実施の方法を検討していただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	5	1	1	青少年健全育成と家庭教育 青少年健全育成の充実
放課後子ども教室推進事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	12	放課後子ども教室推進事業
担当課・係等				
生涯学習課 生涯学習係				

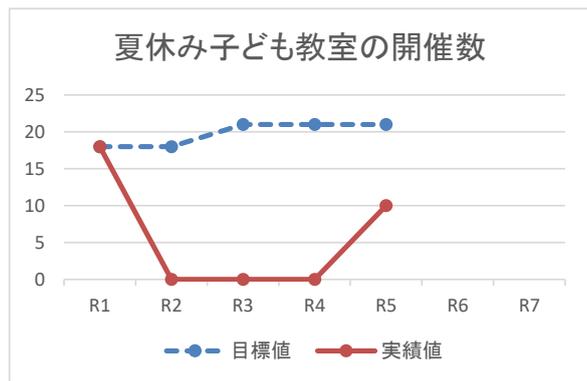
実施計画整理番号	
105010102	
総合戦略整理番号	22301

事業概要	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
(P L A N)	夏休み期間中の子どもの安全・安心な居場所づくりと異年齢交流、地域教育力の活性化を目的に夏休み子ども教室を開催する。また、放課後子どもプラン運営委員会において事業の検証を行い、開催校を順次増やすことで推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み子ども教室の開催校を増やす。 ・放課後子どもプラン運営委員会の開催(年2回)。 ・コーディネーターの育成のため各種研修会に参加する。
基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)		
	夏休み期間中の子どもの安全・安心な居場所作りと異年齢交流、地域教育力の活性化を目的に夏休み子ども教室を開催することで、施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	422	422	197						
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	422	422	197						
	人工数	人		0.5							
	人件費	千円		766							

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
夏期休業期間中に「夏休み子ども教室」を開催する。	夏休み子ども教室の開催数	回	21	21		
		実績値		10		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
夏休み期間中の子どもの居場所づくりや異年齢交流、地域教育力の活性化が図られる。	夏休み子ども教室参加者アンケートで「子どもを参加させて良かった」と答えた保護者の割合	%	80	80		
		実績値	-	93		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	5	1	1	放課後子ども教室推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	12	放課後子ども教室推進事業

整理番号
105010102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>令和元年度の6校開催以降、新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止が続いていたが、沈静化の兆しにより規模を縮小して開催した。昔あそびやポッチャ、工作教室等の体験型のプログラムを通して、他学年の児童や高校生ボランティア、コーディネーターや地元長寿会の人々との交流がはかられた。</p> <p>二宮っ子クラブ(二宮小学校) 8月1日・8月2日 参加児童延39人 ボランティア延41人 鶴枝っ子クラブ(鶴枝小学校) 8月3日・8月4日 参加児童延64人 ボランティア延26人 本納っ子クラブ(本納小学校) 8月7日～8月9日 参加児童延92人 ボランティア延19人 茂原っ子クラブ(茂原小学校) 8月23日～8月25日 参加児童延87人 ボランティア延25人</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	C: 効率性について検討が必要である
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>国の推進する放課後子どもプランでは、放課後の子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを進めることが趣旨であったが、事業開始当時、保護者アンケートと空き教室の状況を考慮し、開催時期を夏休みに設定した。その後、2年に1校ずつ開催校を増やし全校開催を目指していたが、コーディネーターの育成に期間を要するため職員の負担が増大した。加えて新型コロナウイルス感染症や近年の酷暑による熱中症対策など、不測の課題が生じた。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	C: 事業の休止・廃止の検討が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	放課後子どもプランや、学校・家庭・地域連携のあり方を見直し、事業を再構築する必要がある。	
企画政策課の評価		評価理由
C	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当	夏休み子ども教室の開催により、青少年健全育成の充実に一定の成果があったと認められる。事業のあり方については、検討していただきたい。

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	1	2	青少年健全育成と家庭教育	青少年健全育成の充実
実施計画事業名					
青少年相談指導事業					

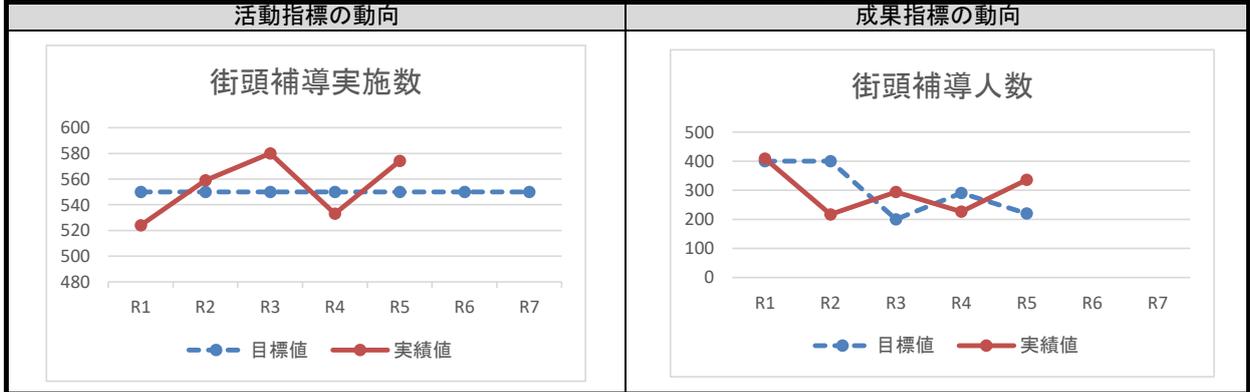
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	04	01	適切な環境づくりと非行防止事業	
担当課・係等					
青少年指導センター					

実施計画整理番号	
105010201	
総合戦略整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	<p>茂原市青少年補導員連絡協議会と連携し、街頭補導、相談事業、青少年に有害な社会環境の浄化活動、啓発活動、児童生徒の安全を確保する活動を推進し、青少年の健全育成に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の街頭補導を充実する。 ・列車補導、県下一斉パトロール等の啓発補導を充実する。 ・他支部との連携や研修会へ補導員とともに積極的に参加する。 ・相談体制を整え、相談事業をより充実する。 ・ネットパトロールを充実する。 ・早朝、薄暮等の登下校時のパトロールを充実する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
<p>青少年を取り巻く環境が急激に変化する中において、青少年が健やかに成長していくためには、地域社会全体で青少年を支えていく環境の整備が必要である。青少年指導センターは、学校や地域、関係機関と連携して補導活動や相談活動、啓発活動に努めることで、青少年の安全確保や非行防止、自立支援につなげ、ひいては施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。</p>		

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	1,377	1,439	1,423						
	国補助	千円									
	県補助	千円	250	250	250						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,127	1,189	1,173						
	人工数	人	5.9								
	人件費	千円	25,915								

手 段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度	
年間を通して、早朝・午前・午後・薄暮・夜間にパトロールや街頭補導を実施することで、青少年の安全確保や非行防止に努める。	街頭補導実施数	件数	目標値	維持します	維持します	維持します	維持します
			実績値	533	574		
パトロールや街頭補導の推進により青少年の安全確保や非行防止ひいては青少年の健全育成につなげる。	街頭補導人数	人	目標値	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値	226	336		



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	5	1	2	青少年相談指導事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	04	01	適切な環境づくりと非行防止事業

整理番号
105010201

課題抽出(CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年補導員連絡協議会や茂原警察署と連携して茂原駅周辺や公園、ゲームセンターでのパトロールを継続的に行うことで、青少年の安全を確保することができた。 ・各機関と協力して相談活動を行った。継続的に面談を行い、必要に応じて千葉県警外房地区少年センターや茂原警察署等の関係機関に橋渡しすることで、学校や青少年に適切な支援を施すことができた。 ・ネットパトロールを週に3回程度実施し、県民生活課と連携して強化を行った。SNSに児童生徒の問題がある投稿があった場合は、所属学校にその情報を提供することでトラブルを未然に防ぐことができた。 ・児童生徒へ広報紙「くす」やクリアファイル「スマホの正しい使い方」を配付することで、非行防止や交通安全、不審者対策、スマホの正しい利用等、生活に密着することについて啓発することができた。 ・「わが街ガイド」の不審者情報を随時更新することで、市民に不審者情報を周知することができた。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に少年犯罪や非行は減少傾向にあるが、SNSの普及により青少年の生活様式が変化しており、行動を把握することが難しくなっている。また、SNSトラブルが低年齢化しているため、子どもたちのネットリテラシーが重要である。 ・登下校時の児童生徒の安全を確保する活動の中で、児童生徒の交通ルール、特に自転車の並進の注意が多くあった。 			

今後の方向性(ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回やネットパトロールを行う中で、軽微な変化を見逃さず、関係機関との情報交換を密にしておくことで、重大事件を未然に防いでいく。 ・SNSトラブルの未然防止に向けた、ネット安全教室等の啓発活動を実施する。 ・交通ルールや正しい自転車の乗り方について、広報紙「くす」等で啓発していくとともに、学校への協力も要請していく。ヘルメットの着用が努力義務化されたことについても啓発していく。 	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<ul style="list-style-type: none"> A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 <p>各種施策により、青少年健全育成に一定の成果があったと認められる。引き続き適正な事業実施に努めるとともに、事業実施にあたっては時代に即した方法を検討していただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	2	1	青少年健全育成と家庭教育	家庭教育の充実
実施計画事業名					
家庭教育学級開催事業					

予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	01	03	家庭教育学級開催事業	
担当課・係等					
生涯学習課 社会教育係					

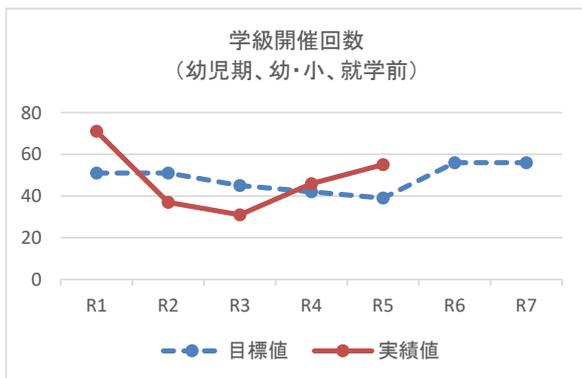
実施計画整理番号	
105020101	
総合戦略整理番号	22101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	幼児・児童の保護者を対象に、子育てに関する知識や情報を提供する各種講座を開催し、子どもの健やかな成長の一助とする。	3歳児の保護者を対象に「幼児期家庭教育学級」、就学を控えた児童の保護者を対象に「就学時子育て講座」、幼稚園児・小学生の保護者を対象に「家庭教育学級」を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	家庭教育の重要性に鑑み、子育てに関する啓発及び相談の場の提供は切れ目なく行っていく必要がある。本事業は、子どもの発達段階に応じた講座を提供することで、施策「家庭教育の充実」に寄与している。	

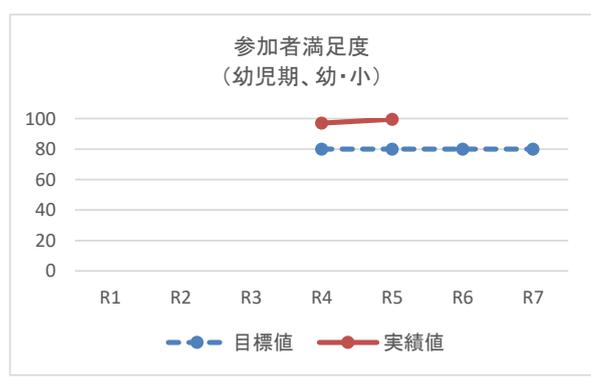
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
財源内訳	事業費	千円	477	477	260						
	国補助	千円									
	県補助	千円			170						
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	477	477	90						
	人工数	人	1.05								
	人件費	千円	4,077								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
子どもの成長段階に応じた学級を開催することにより、切れ目のない家庭教育支援を行う。	学級開催回数 (幼児期、幼・小、就学前)	目標値	42	39	56	56
		実績値	46	55		
	1回あたり参加人数 (幼児期、幼・小、就学前)	目標値	30	30	30	30
		実績値	23	24		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
情報の提供及び繋がりの場の提供により、家庭教育の充実ひいては子どもの健全育成につなげる。	参加者満足度 (幼児期、幼・小)	目標値	80	80	80	80
		実績値	97	100		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	5	2	1	家庭教育学級開催事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	03	家庭教育学級開催事業

整理番号
105020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	<p>3歳児の保護者、就学を控えた子どもの保護者、幼稚園児・小学校児童の保護者と、子どもの成長段階に応じて講座を開催することにより、家庭教育に関する情報提供を切れ目なく行っている。また、情報提供のみならず保護者どうしの繋がりがづくりに貢献している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期(3歳児)家庭教育学級・・・全5回実施し、延べ50人が参加。託児は延べ58人。 ・幼・小家庭教育学級・・・13学級(幼稚園1園、小学校12校)で38講座実施。772人参加。 ・就学時子育て講座・・・12小学校で実施。518人参加。 		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)			
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>・幼児期(3歳児)家庭教育学級の参加者が例年より大幅に少なかった。対象となる全世帯に通知はしており、内容も従来と変わらないため原因は不明だが、コロナ禍で中止した年もあったことから、参加を後押しするような口コミが少なかった可能性がある。</p>			

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>・3つの学級はいずれもアンケートで大変な好評を得ており、従来の取り組みを継続していく。</p>	
	企画政策課の評価	評価理由
A	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p> <p>各種学級の開催により、家庭教育の充実に一定の成果があったと認められる。参加者の満足度も高いため、引き続き事業の推進を図るとともに、参加人数の増加のための施策についても検討していただきたい。</p>	

令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	テーマ名
1	6	1	1	国際化
実施計画事業名				
国際化推進事業				

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	02	国際化推進事業
担当課・係等				
企画政策課 男女共同・国際化係				

実施計画整理番号	
106010101	
総合戦略整理番号	

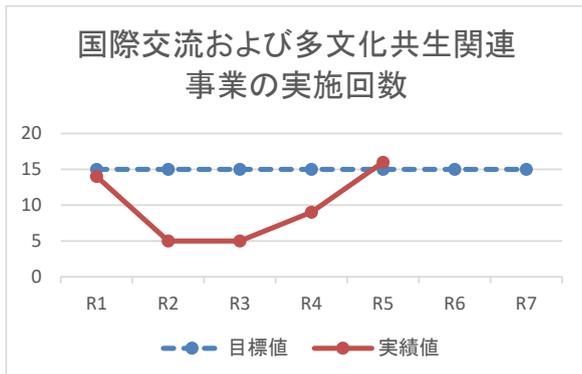
事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何をを行うか)
	多くの市民が国際交流活動に参加し、国内外の多様な文化や価値観を受入れ、国際的な観点で物事を考えることができる国際感覚を身に付ける。また、外国人市民と日本人市民が、お互いの価値観や文化を尊重し合い、安全安心に暮らすことができる。	姉妹都市ソルズベリー市等との交流事業を実施し、市民の参加機会を提供するとともに、異文化理解促進のための情報発信を行う。また、国際交流協会との協働により、在住外国人向けの生活支援講座および交流イベントの開催や、多言語での情報提供を行うとともに、多文化共生社会について等の啓発のための情報発信を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	

・姉妹都市交流等を通じて市民が国際交流に参加できる機会を提供し、また、国際交流協会への支援を通じてより多くの交流機会を創出することにより、施策「国際化の推進」における「国際交流活動の推進」に寄与する。
 ・在住外国人が安全安心に暮らすための支援をするとともに、日本人市民が異文化を理解するための機会を提供することにより、在住外国人施策「国際化の推進」における「多文化共生社会の実現」に寄与する。

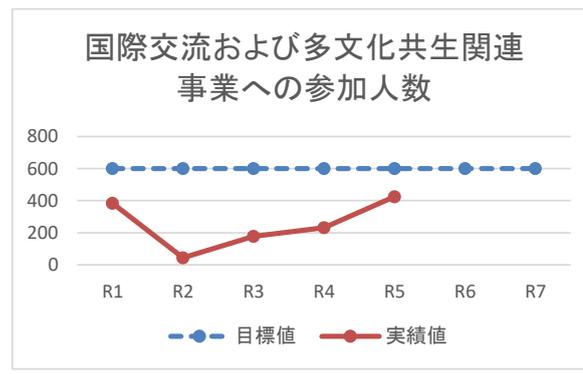
投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	4,056	5,207	1,731						
財源内訳	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円	4,005	5,157	1,681						
	一般財源	千円	51	50	50						
人工数	人		1.15								
人件費	千円		8,697								

手段(DO)	活動指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
姉妹都市等との交流事業や在住外国人向け生活支援講座、交流イベントを開催し、市民が参加できる機会を創出し、広く周知するとともに、異文化理解促進および多文化共生社会について等の啓発のための情報発信を行う。	国際交流および多文化共生関連事業の実施回数	目標値	15	15	15	15
		実績値	9	16		
	参加機会の周知および啓発のための情報発信回数	目標値	2	2	2	2
		実績値	3	3		
成果	成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	7年度
姉妹都市等との交流事業や在住外国人向け生活支援講座、交流イベントに多くの市民が参加できる機会を提供し、ひいては国際感覚や多文化共生の価値観の醸成につなげる。	国際交流および多文化共生関連事業への参加人数	目標値	600	600	600	600
		実績値	231	425		

活動指標の動向



成果指標の動向



令和5年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	6	1	1	国際化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	02	国際化推進事業

整理番号
106010101

課題抽出(CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
課題抽出(CHECK)	<p>◆茂原市国際交流協会と協働し、以下の事業を実施。事業参加者数としては昨年度より194名増加、会員数は8名増加し、より多くの市民の国際交流の機会を創出できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂原桜まつり(野点による呈茶、ステージ出演) ※年度中2回実施 (参加者60名) ・茂原七夕まつり(ステージ出演)(参加者19名) ・協会広報誌発行 ・日本語教室の活動ブラッシュアップ講座(外国人に日本語を教えるボランティア向け)(24名) ・介護保険制度講座(外国人向け)(14名) ・外国語教室(韓国語12名、子ども向け英会話14名、初級英会話4名、英会話カフェ88名) ・国際交流バーベキュー(43名) ・国際交流パーティー(76名) ・日本文化紹介(浴衣着付け・盆踊り)(29名) ・各国紹介(イタリア料理教室)(20名) ・視察研修(本所防災館での自然災害体験)(22名) <p>◆姉妹都市交流についての出前講座を、中の島小学校の4年生2クラスで行った。(54名)</p>		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)</p>		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)			
<p>事業の参加者が固定化されている傾向がある。</p>			

今後の方向性(ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
今後の方向性(ACTION)	<p style="font-weight: bold;">B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要</p>	<p style="font-weight: bold;">③連携・協働の推進</p>
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	<p>より多くの市民に参加してもらえよう、多くの市民が集まる市の大きな行事(七夕まつりなど)に積極的に参加するなどして協会PRを行うとともに、各事業の周知を協会会員だけでなく、市民全体にできるよう周知方法を工夫する。</p>	
企画政策課の評価		評価理由
<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">B</p>	<p>A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当</p>	<p>茂原市国際交流協会の事務局として国際交流に係る各種イベントを開催することで、国際化の推進に一定の効果があつたと認められるが、引き続き協会の適正な運営に努めるとともに、イベントの効果的な周知方法について検討していただきたい。</p>